

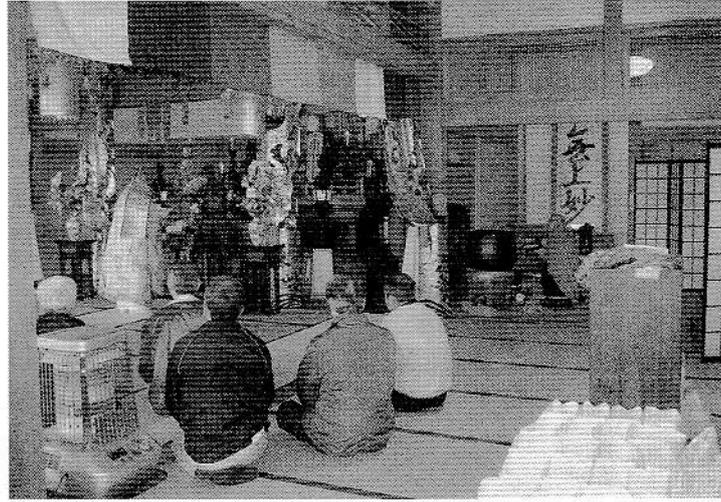
心ゆたかに

発行 株式会社天峰建設 袋井市横井115-3
TEL0538-43-6773 FAX0538-43-7250
ホームページ<http://www.tenpou.co.jp/>
Eメール tenpou@mail.wbs.ne.jp

第99号 発行日 平成24年5月1日

曹洞宗連城寺様で上棟式

静岡県磐田市新貝



本堂内での上棟式の様子（平成24年3月）

去る三月三十一日（土）、磐田市
新貝の三白山連城寺様（馬場照文住
職）において、庫裡の上棟式が執り
行われました。

式典当日はあいにくの空模様で、
大工さんたちは朝から合羽を着て雨

の中で黙々と作業をしていました。

建設委員を始めとした関係者は、式
典や餅撒きをどうしようかと頭を抱
えていましたが、皆の願いが天に通
じたのか、新幹線さえ止まるほど激
しく降っていた雨が、式典が始まる
前には止まりました。すると、檀信徒
の方や近隣の人が続々と集まり、境
内は人でいっぱいになりました。

既に本堂内で式典を執り行うよう
に決めて準備していたので、そのま
ま本堂内で読経と焼香を行い、皆で
今後の工事の無事を祈りました。そ
の後新築中の庫裡の棟上で、棟上の
儀を執り行いました。

つつがなく式典が終わると、待ち
に待った餅撒きの始まりです。雨が
上がったとはいえ、建設中の現場は
地面がまだぬかるんでいるので、新
築中の庫裡からは角餅だけを投げ、

関係者がそれを回収することにしま
した。その後は本堂前で子供向けに
風船とお菓子が配られ、いよいよ本
堂からお餅が撒かれました。皆一生
懸命拾って、袋をいっぱいにして嬉
しそうに帰りました。

庫裡の完成は今年の十二月末を予
定しています。



本堂からの餅撒きの様子（平成24年3月）

待望のコラム復活へ

天峰建設 代表取締役社長 澤元教哲

去る四月十二日（木）、東京都新宿区の日本テンブルヴァン株式会社を訪ねてまいりました。目的は、先代社長の故井上文夫氏の御息で現社長の拓郎氏への、再び弊紙へのコラムの寄稿をお願いすることでした。

弊社への日本テンブルヴァン株式会社からの記事が無くなってしまったことを残念に思われた浜松市内のご住職から、浜松市仏教会の冊子への寄稿もなされていた全日本仏教会の顧問弁護士の長谷川正浩氏に寄稿をお願いしてみてもどうかと、事前にアドバイスを頂いておりまして、まずは長谷川氏にお願いをしてみようと連絡を取りましたところ、氏は同社の監査役も勤められている関係から、氏の方から現社長の拓郎氏に打診して下さいというありがたいお言

葉を頂きました。

そのような経緯で、久方ぶりに同社を訪ねていただきました。まだ先代から事業を引き継がれてそんなに長い時間が経っていないため、慌ただしい状況での無理なお願ひであることは充分承知しておりましたが、拓郎氏は快く引き受けて下さいました。長谷川氏からのお口添えがあったことは言うまでもないことかもしれませんが、拓郎氏自身も、先代社長と弊社との関係、弊紙の意義を考慮していただいた上でお引き受け下さったのでした。

ずっと弊紙の日本テンブルヴァン株式会社のコラムを参考にしてこられたご住職様方から、このまま無くしてしまうのでは惜しいというご要望を少なからず頂いておりましたので、ようやく、コラム復活への目途がついたと、安堵いたしました。それと同時に、それだけ惜しんで下さるご寺院様がいらしたことに、今まで取り組んできた

ことが間違いではなかったなど、大変嬉しくも誇らしくも感じました。

まだ、いつから復活させるか、いつまで執筆していただけるのか、どんな内容から書いて頂くかという大事なお話は出来ていませんが、せっかく楽しみにしてくださいませぬ、なるべく早く読んで頂けます様、努力してまいります。

また、今回いろいろとアドバイスをして下さったご住職や、お口添えをして下さった長谷川氏、快く引き受けて下さった拓郎氏に、紙面を借りてあらためて感謝の意を述べさせていただきます。どうもありがとうございます。

今後とも、皆様に応援して頂ける様な、楽しみにしていただけのような紙面づくりを心掛け、今まで以上に努力して参ります。また、皆様からのご意見やご要望にも耳を傾けて、反映させていきたいと思ひます。ご指導ご鞭撻を、宜しくお願ひいたします。

お詫び

台風後の対応が遅れてしまった件

昨年九月二十二日（木）に浜松市付近に上陸した台風十五号は、県内のみならず広範囲に様々な被害をもたらしました。特に直撃を受けた静岡県西部では、屋根瓦が飛んだりずれたり、物置が飛んでしまったり看板が倒れたり、暴風による被害が目立ちました。しばらくは信号機や標識、カーブミラーも変な方向を向いてしまったままでした。

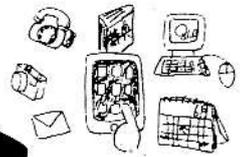
弊社のお世話になっているご寺院様や、一般住宅のお客様にも屋根の被害や雨漏り、雨樋が飛んでしまったなど、大小あわせて百件以上の被害が出ていました。台風当日から修理の依頼は増え続け、それから数日はこちらから今までにお世話になったお施主様一軒一軒に、被害が出ていないかお見舞いのお電話を入れさせていただきました。その一方でお施主様からの修理依頼も入り

続けており、中には「まだ来てくれないのか？」と、催促の電話もたくさんありました。社員手分けをして対応し、瓦屋や板金屋への手配をしていましたが、各業者とも弊社からの依頼ばかりではなく多方面からの依頼もあり、台風後三日もすると修理や調査の依頼だけで四百軒以上抱えている業者もありました。業者の規模や数に対して余りに被害が集中してしまったために、物理的に対応が困難になってしまい、大変お待ちせしてしまう結果になってしまいました。また、保険屋が、自分たちの業務をスムーズにするために、お施主様に被害状況の写真や業者からの見積を急かすよう催促したために、余計にお施主様を焦らせてしまうことも多かつたようです。

ました結果、お施主様によっては非常に長い時間お待たせさせていただきました。瓦屋などの業者が回りきれないところは、弊社の大工が応急処置をするように人海戦術でなるべく早くお伺いするようにいたしました。ここままでたくさんの方数を対応したことがなかったため、応急修理は済んでもその後の対応が必要だったにもかかわらず手配が滞ってしまったケース、業者に手配はしていても時間が経ちすぎて業者の方で忘れてしまったケース、それらを一元的に管理、確認する作業を弊社の方で十分にできなかったことなど、今後検討すべき大きな課題となりました。

今頃になってしまつて遅きに失した感はありませんが、最近まで十分な対応が取れていなかったお施主様からお叱りもございましたので、紙面を借りてあらためてお詫び申し上げます。本当にご迷惑をお掛けいたしました。

知って得する



スマートフォンの話

最近テレビのCMでもお馴染みになってきたスマートフォン（略してスマホ（フォ））。自分自身はもう一年程使っているのですが、まだまだ社内でもスマホを使用しているのは一部の人間です。実際スマホとは何なのか、今回はスマートフォンのお話です。

スマートフォンを直訳すれば「賢い電話」となり、文字通り高性能、多機能の携帯電話です。また、ボタンを押さなくても画面に触れるだけで様々な操作ができるタッチパネルを取り入れているなど、性能の高さの割りに操作が簡単であるのも特徴です。

日本の携帯電話は海外と比べるとハイテクノロジーを結集して独自の進化を遂げているため、スマホとは区別されているものでもかなり高性能、多機能のものがありません。ただし、独自の進化を遂げ過ぎたため、世界の主流からはかなり外れた存在になってしまっていて、「ガラパゴス携帯」などと皮肉られています。高性能ではあっても他の機種との互換性がなかったり、操作がわかり難いという面があります。

スマートフォンの代表的なもの一つにアップル社が開発・販売している 아이폰（iPhone）があります。もともとアップル社はマッキントッシュというパソコンを開発・販売している会社でしたので、 아이폰にはパソコンと連携して使うという考え方を基にした機能が充実しています。もちろん、パソコンがなくても、インターネットを利用してのデータの保存や編集が可能です。あらかじめ保存しておいたデータ呼び出すことも可能です。処理速度が速く、画面も高解像度のため、今まではわざわざパソコンを使って見ていたような動画も、 아이폰で充分楽しめます。

아이폰以外にもインターネットの大手検索会社のグーグルが開発した基本OS（操作するための基本的なソフト）「アンドロイド」を搭載したスマートフォンも様々な会社から開発され、販売されています。こちらの方が、OSが公開されているため、様々な携帯電話関連会社やソフトメーカーが参入して多種多様な機種とソフト（アプリケーション・略し

てアプリ）が出回るようになりました。スマートフォンの良い点は、様々なアプリの中から、欲しいアプリ、便利なアプリを自分の必要なものを選んで取り入れ、自分が最も使いやすいスマートフォンに仕上げていけることです。ただし、OSが公開されているということは、悪意を持った者に利用される可能性も高く、インターネットを介して動画を見ようとしたら、電話帳などの個人情報データが盗み見られてしまう、アプリが実はコンピューターウイルスを含んでいる、勝手にカメラで撮影された写真やクレジットカードの番号が流出してしまうなど、恐ろしい被害も出ています。

携帯電話がメールを送れたり、インターネットに接続ができるようになってから、未成年者が出会い系の被害に巻き込まれるという事件が絶えません。スマートフォンでは高性能、多機能になった分、また、操作が簡単な分、今まで以上に、そういう危険をはらんでいることも事実です。使用する側にもスマートさが必要とされています。